

第3回くらす部会会議録

日 時	2014年9月10日(水) 13:30~15:00
場 所	地域連携交流施設2階 会議室
出席者	西野英三郎、加藤和子、橋本俊彦、村田啓子、藤尾成子、窪田康子、内海貴美子、中野操、小林知容、濱口直哉、政本和子、山口郁代、
テーマ	1、協議課題 2、その他 3、次回開催日の調整
内容	<p>1、協議課題</p> <p>○わかばふれ愛ホーム見学会について(参加者からの報告) (6月25日参加者7名・7月9日参加者5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかば学園と同敷地内にあり連携しているので、双方のスタッフの連絡が密である ・挨拶をしたり、近くの学校の運動会の前に校庭の草抜きをする等により、地域交流を図っており、地域と密接な関係が出来ている ・地域の人が施設利用者の見守りをしてくれたりしている ・地域の財産だと言われている。 ・グループホームと事業所が同一敷地内にあるのは、メリットと考えていたが、他の方の意見では「ずっと同じ場所で生活するのはつらいかも」との意見もあった ・「土日帰れるならいい」と当事者からの意見があったので利用に対する気持ちとして、驚いた ・身近な人の不幸があり、グループホームの生活イメージが本人に少し出てきたかもしれない ・当事者がグループホームについて、まだピンと来ていない <p>○お泊り会について報告(8月1日~2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は高校生の男子がいいムードメーカーであった ・一番遅い就寝で、12時だった ・穏やかな空気が流れていた ・今後は1部屋2名の宿泊は可能か?→要望があれば、対応できます ・土日勤務の方が、平日にお泊り会を行ってほしいと要望あり →平日のディサービスお泊り会は可能 ・早朝から仕事がある方は対応が可能か →個別対応できるので、5時に起床であっても朝食の準備は可能 ・お泊り会を経験後、生活様式の変化があった方がいるので、この取組みはいいと思う <p>○蓮池小学校区避難訓練及び防災キャンプについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年2月22日(日)に実施予定 ・県育成会スポーツ大会が別途あり ・今後、どのように関わっていくのか検討していく

○ヘルプカードについて 濱口氏説明

- ・ 2市2町の自立支援協議会の防災の分野でヘルプカードの話が出ている
- ・ 播磨町は災害時のみでなく、日常生活で困った時に使う事を想定している
- ・ 2市2町で今後協議し、可能な部分については合わせていく

《意見》

- ・ 災害時の集合場所は、災害の種類（津波・水害など）でちがうのではないかと
→最終的に家族や支援者と連絡が取れるところを想定している
- ・ 折りたたんで財布などに入れて、日常的に持ち歩くことを想定している
- ・ 素材はどうなっているのか
→ダウンロードして、個々で印刷してもらう事を想定している
- ・ 定期に入る大きさがいい。名刺サイズがいいのではないかと
- ・ キャッシュカードのようなものや名刺サイズのものもいい。折りたたむと見にくいのではないかと。かばんの中を見るのは抵抗があり、首から下げて見るものもいいのではないかと
- ・ 関係者がヘルプカードを知っていたら、災害時や困った時に活用できる
→ヘルプカードを皆に周知し、浸透することが必要
- ・ 神戸市の「安心カード」のようなものはどうか
- ・ 困った状態や災害時など、使い方によって必要な情報はちがうのではないかと
- ・ 利用する本人が「ヘルプカード」の存在を認知することが必要
- ・ 町民に周知する。駅舎や公共機関など支援する周りの人に、周知する
- ・ AEDの設置場所やコンビニなどの子ども110番の近くに貼ってもらってはどうか
- ・ 名前に「ふりがな」を書いてほしい
- ・ 住所のエリアだけでも書いたらどうか
→災害時の待ち合わせ場所を明記したほうが住所のエリアがわかっていい

○難病患者に対する医療費助成制度講演会について

- ・ 平成25年から難病指定も障害者総合支援法の対象になった
- ・ 医療費助成制度で受給者証の交付時期が変更となる。講演会を一度行ってはどうか
- ・ 2市2町の自立支援協議会が協働しながら、周知してもいいのではないかと
- ・ 今後、県民局とも調整して検討する

3、その他

○災害ボランティア報告 丹波市のボランティアを西野氏報告

- ・ 丹波市（兵庫県）、福知山市（近畿ブロック）、広島（西日本）で災害ボランティアをしている
- ・ 被災地の自立支援協議会が災害ボランティアセンターを立ち上げる
- ・ 被災された丹波市は、県内の社会福祉協議会職員が1日10名程度お手伝いしている
- ・ 現場は道が狭く、各自の車では入る事が不可能だったため、集合後バスに乗って移動した
- ・ 丹波市の自治会が非常に活発だったため、自治会長の指示によりボランティアを現地で振分け
- ・ 床下の泥掃除を実施。大人数が参加している為、進捗も早かった
- ・ ボランティアセンターの登録、作業終了後の報告等、受入システムが出来ている
- ・ 現地の方々の心情を考慮し、写真撮影などは禁止
- ・ ボランティアの現地入は、マイクロバスなどの大型車両で大勢行くより、ワゴンなどの機動性

のある車両の方がいい

→播磨町は歩いて回れる面積なので、大型車両の町内への乗り入れは難しいだろう

《報告に対する意見》

- ・ボランティアセンターを通さず、知人宅へ個別にボランティアをしている友人あり
→個人情報の流出が心配
- ・ボランティアの車両が路上駐車しており、交通の妨げになっているところがあった
- ・被災地の住民からは、ボランティアや近隣住民の援助がとても助かるとの声があった

《連絡事項》

- そだつ部会 8月18日(月)交通安全教室 参加人数:0名
10月15日(水)「なぜ?どうして?困り事にお答えします」
場所:地域連携交流施設 時間:10:00~
 - はたらく部会 8月3日(日) はたらくみんなのお茶会 参加人数:24名
9月25日(木) はたらく現場見学会(住友精化) 10:00~
 - 全 体 会 8月1日(金) 参加人数:35名
「播磨町はそだちやすい?! 暮らしやすい?! はたらきやすい?!」
講師:社会福祉法人 岩崎学園 理事長 松下直弘氏
 - ホームページ開設 アドレス <http://www.jiritu-h.com/>
各部会の議事録や日程表等掲載予定
 - ワークショップ 10月10日(金) 10:00~ 播磨町役場 ABC 会議室
 - 第二回推進会議及び全体会について
・推進会議の活動報告は、各部会で実施する方向で検討する
4. 次回開催日 11月26日(水) 13:30~15:00 地域連携交流施設